

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業			担当部局庁	高等教育局		作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	専門教育課		専門教育課長 梅原 弘史	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	「新しい経済政策パッケージ」(平成29年12月8日閣議決定)、「未来投資戦略2017-Society5.0実現に向けた改革-」(平成29年6月9日閣議決定)、「科学技術イノベーション総合戦略2017」(平成29年6月2日閣議決定)、「世界最先端IT 国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」(平成29年5月30日閣議決定)			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	教育振興助成費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	Society5.0の実現に向けて、産学連携による課題解決型学習等の実践的な教育を推進し、高い専門性と俯瞰的知識を身に付けたより実践的でハイブリッドな人材を育成する取組を支援することを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	第4次産業革命の進展による産業構造の変化に伴い、付加価値を生み出す競争力の源泉が、「モノ」や「カネ」から、「ヒト(人材)」「データ」である経済システムに移行。あらゆる産業でITとの組み合わせが進行する中で我が国の国際競争力を強化し、持続的な経済成長を実現させるには、ITを駆使しながら創造性や付加価値を発揮し、日本が持つ強みを更に伸ばす人材の育成が急務。							
事業概要 (5行程度以内)	大学等における、データサイエンティストの育成機能を強化するための教育プログラムを産官学の協働により開発・実施し、その成果を広く全国に普及させる取組を支援する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/miraikachisouzou/1403520.htm							
実施方法	補助							
補助率等	定額補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	234	178	90	1	-	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	234	178	90	1	-		
	執行額(G)		234	175	88			
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	98%	98%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	98%	98%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		高等教育振興費					
		(目)	研究拠点形成費等謝金	0				
		(目)	研究拠点形成費等業務旅費	0				
		(目)	研究拠点形成費等委員等旅費	1				
		(目)	研究拠点形成費等庁費	0				
			その他	0				-
	計(A)		1	-				

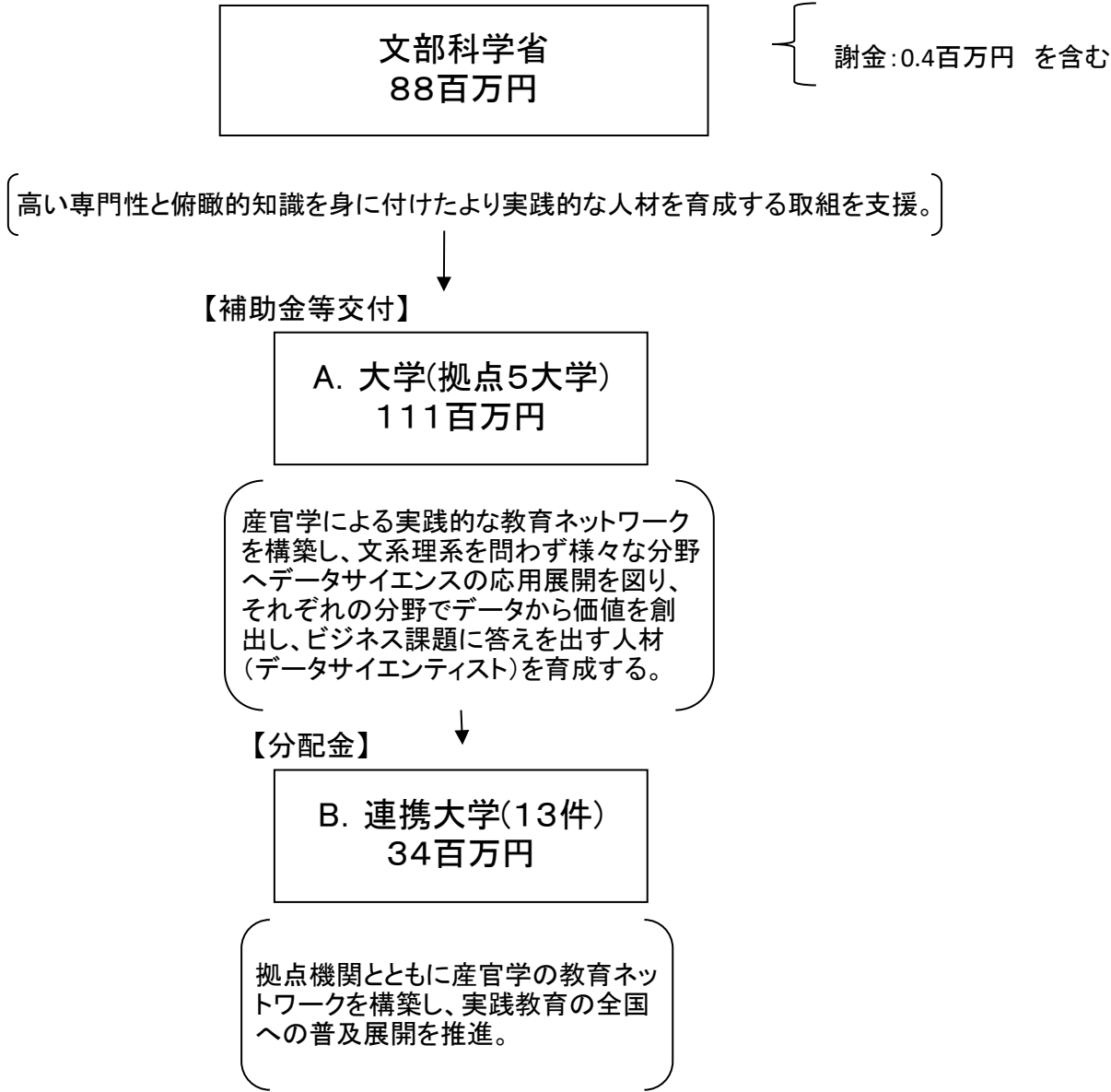
活動内容① (アクティビティ)		大学において、文系理系を問わず様々な分野へデータサイエンスの応用展開を図り、それぞれの分野でデータから価値を創出し、ビジネス課題や社会課題に答えを出す人材などといった、いわゆるデータサイエンティストの育成機能を強化するため、そのための教育プログラムを産官学の協働により開発・実施し、その成果を広く全国に普及させる取組を支援。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		社会人のプログラム受講	事業により開発した教育プログラムの 社会人受講者数	活動実績	人	1,434	1,523	842	－	－	
				当初見込み	人	473	473	473	－	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	データサイエンティストの育成機能の強化には、教育に携わる教員自身がデータサイエンティスト育成の教育内容、方法論を身に付けることが必要であるため、指標として設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度		
		教員のFD活動への参加	事業によるFD活動に参加した 教員数	成果実績	人	1,291	1,327	1,326	1,326		
				目標値	人	680	680	680	680		
				達成度	%	189.9	195.1	195	195		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	FD活動に参画した教員のサポートにより、データサイエンティストを育成する一連の教育プログラムが実施されるため、長期アウトカムは、プログラムの修了者数を設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 4 年度		
		事業最終年度(令和4年度)における修了者数。	本事業により開発された教育プログラ ムを受講し、修了した受講者数	成果実績	人	884	1,237	790	790		
				目標値	人	490	500	500	500		
				達成度	%	180.4	247.4	158	158		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
		－									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

[illegible]

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※なお、支出額は総事業費（自己負担金を含む）で記入しており、金額は単位未満四捨五入していることから、合計が予算額と一致しない場合がある

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）



費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費・謝金	人件費、謝金	18	人件費・謝金	人件費、謝金	5
	分配金	3大学への分配金	10	間接経費	光熱費等	1
	その他	外注費、会議費、諸経費	5	物品費	消耗品費	1
	間接経費	光熱費等	1.4	旅費	旅費	0.5
	旅費	旅費	0.4	その他	通信運搬費	0
	物品費	消耗品費	0.2			
	計		35	計		7.5
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

